

YAYOI

糊自動攪拌供給機 Linear Mixer リニアミキサー 取扱説明書



このたびは、糊攪拌自動供給機『リニアミキサー』をお買い上げいただき誠に有り難うございます。

ご使用前に先立ち、取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。

万一、本機のお取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分にご理解いただいた上で、本機の運転及び保守作業を行ってください。

また、この取扱説明書は常に手元に置き、なくさないように保管してください。

目 次

1.取扱い上のご注意	2・3・4
2.全体外観	5
3.使用方法	
① 準 備	6
② 操作パネル	6・7
③ 糊の攪拌	8
④ 糊の供給	9
⑤ 洗 浄	9
故障だと思われる前に	10
別売りオプション	10
仕様・保証	11

1. 取扱い上のご注意

糊攪拌自動供給機『リニアミキサー』をご使用いただくには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。本文をよくお読みいただき、十分にご理解された後で、糊希釈ならびに保守作業を行ってください。

この取扱説明書では、誤った取扱いをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人身事故につながるおそれのある内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、機械の破損・故障につながるおそれのある内容を示しています。

 **メモ** これを知っておくと便利という内容を示しています。

警告



プラグを抜け

煙が出ている、変なにおいや異音があるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電等の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



警告

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）当社各営業所に交換修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電等の原因となります。



分解禁止

リニアミキサーを分解したり、改造したりしないでください。感電・故障等の原因となります。内部の点検・修理は当社各営業所に依頼してください。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電等の原因となります。



水ぬれ禁止

リニアミキサーに水が入ったり、漏らさないようにご注意ください。火災・感電等の原因となります。屋外での使用や機械の清掃時等は特にご注意ください。



電源OFF

攪拌羽根は本体に着脱できるようになっています。着脱の際、必ず先に電源を切ってください。誤って動き出すとけがをする恐れがあります。



禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが機械の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電等の原因となります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電等の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁 止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、必ずアースをとってご使用ください。感電等の原因となります。



禁 止

機械の上に重いものを置かないでください。機械が変形・破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



禁 止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。機械の誤作動や、倒れたりしてけがの原因となることがあります。必ず水平な場所で使用してください。



禁 止

本機は、糊の攪拌自動供給機です。他の用途、特に食品等の混合は決して行わないでください。



禁 止

溶剤等の混合、或いは引火物がある場所でのご使用は避けください。



警 告

濡れた手で操作パネル等に触れないでください。



警 告

本機を運搬、設置する場合には両手で確実に下カバーの取手を持ってください。



警 告

糊攪拌中は攪拌容器内に絶対に手を入れないで下さい。



警 告

子供の手の届かない所で保管・運転してください。

注意



注 意

精密機械ですから落としたり、ぶつけたり、極端な衝撃を加えないでください。



注 意

電源が離れていて延長コードが必要なときは、十分な太さのコードをご使用ください。



注 意

電圧低下、電圧変動によりリニアミキサーが正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。



注 意

攪拌軸には強力な磁石を使用しています。攪拌軸を取り出したときは電子機器やペースメーカーなどの電子医療機器を装着した人へ近づけることは大変危険ですので十分ご注意ください。



禁 止

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所等、異常に温度が高くなる場所や、湿気の多い場所に放置しないでください。機械の変形・故障等の原因となることがあります。



注 意

本体に水や糊をかけないでください。誤ってかけた場合には、「電源」スイッチを切り、電源プラグを抜き、空雑巾等で素早く拭き取ってください。



注 意

電源は必ずAC100V電圧でご使用ください。また安全のためアース端子よりアースを接続してください。



注 意

使用後は「電源」スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。カバー等に糊が付着した場合、固く絞った雑巾等で素早く拭き取ってください。



注 意

糊の種類、状態によってはリニアミキサーの構成部品を著しく摩耗させ、十分な性能が発揮できない場合があります。このような場合、摩耗した部品の迅速な交換が必要な旨、予めご了承ください。



注 意

経時のご使用によりリニアミキサーの構成部品が摩耗し、十分な性能が発揮できない場合、当社営業所宛お問い合わせいただき、部品交換ないしオーバーホールをご用命ください。



注 意

修理が必要な場合、施工現場にて修理するには修理内容に限度があります。厳密に修理するには、一旦当社へ機械を戻し、詳細な点検調整が必要なことを予めご了承ください。



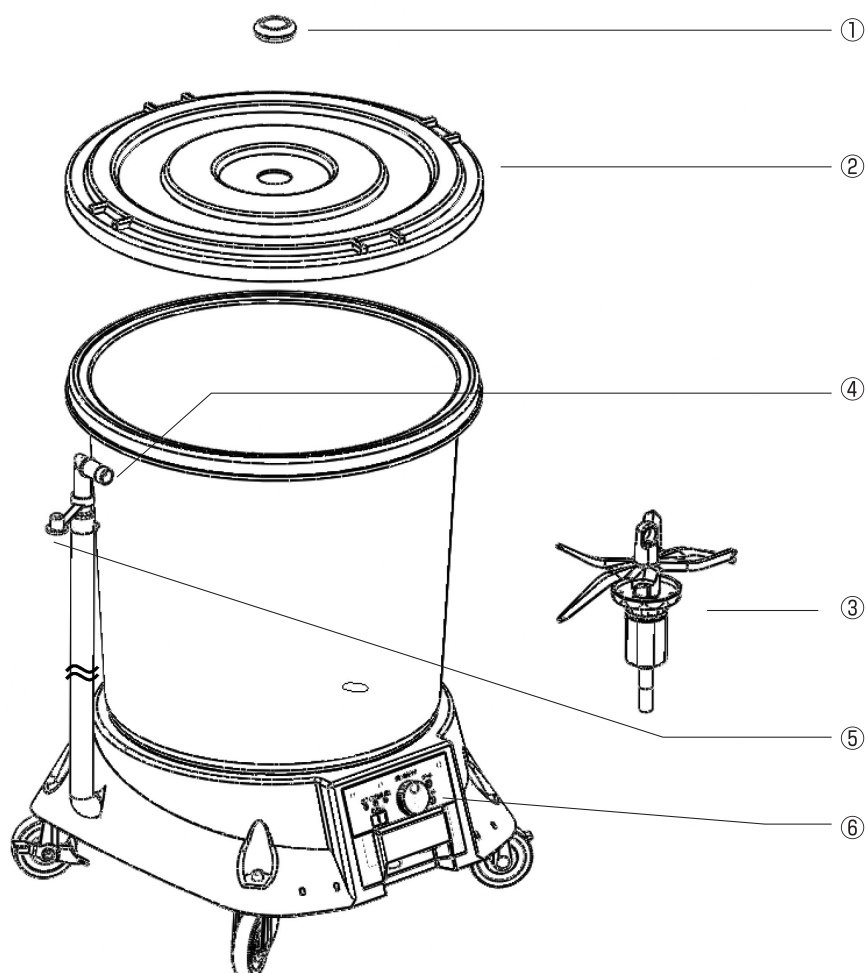
注 意

リニアミキサーでは、予め消耗を想定した部品があります。それらの部品につきましては、保証期間内であっても無償での部品取り替えはできませんので、予めご了承ください。

リニアミキサーをご使用の際、取扱説明書、保証書をよくお読みいただき、ご理解された上でご使用ください。本機の保証期間は6ヶ月ですが、取扱い等に問題があった場合、保証できかねる場合がありますので予めご了承ください。

また、改良等のため予告なしに製品仕様・内容を変更する場合がありますので予めご了承ください。

2. 全体外観



【全体外観図】

商品番号	部品名	使用個数
① 407-203	ホース差込口ブッシュ	1
② 407-201	フタ(ゴムパッキン付)	1
③ 407-208	攪拌羽根	1
④ 407-212	ポンプ供給口	1
⑤ 407-210	供給口キャップ	1
⑥ 407-205	ポリウムツマミ	1

3. 使用方法

1 準備

- (1) 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。
- (2) 攪拌羽根が抜かれている場合は容器中央に差し込んでください。この時攪拌羽根に金属などが付着していないか確認してください。付着している場合は取り除いてください。
また容器中央にも異物等がないか確認し取り除いたうえで羽根を奥まで差し込んでください。
- (3) 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。
(コンセントを差し込むと自動で電源が入り、コンセントを抜くと自動で電源が切れます。)
- (4) 「モード選択」で各運転モードを選択し操作パネルのツマミを回転し運転時間を決定した上で「START」ボタンを押すと機械が動作します。

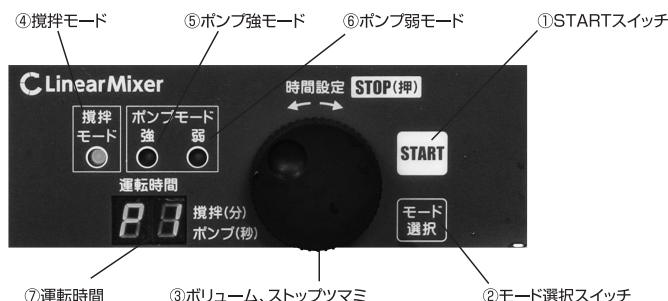


注意

攪拌羽根を容器に戻す際は羽根を奥までしっかり差し込んでください。奥まで差し込まれていない状態で運転すると故障の原因になります。

2 操作パネル





①STARTスイッチ

- ・ 運転を開始します。

②モード選択スイッチ

- ・ 「攪拌」「ポンプ強」「ポンプ弱」の各運転モードに切り替える時に使用します。

③ボリューム、ストップツマミ

- ・ 各モードにおいての運転時間を設定する際に使用左右にツマミを回して使用します。時計回りに回すと数字をプラス、反時計回りに回すと数字をマイナスしていきます。また機械が運転中にツマミを押すと運転が停止します。
- ・ 各モードで運転時間を設定後ツマミを3秒長押しすると設定した運転時間を機械に記憶させることができます。

④攪拌モード

- ・ 糊を攪拌する際に使用します。運転中はランプが点灯します。運転時間はツマミを回して設定します。

⑤ポンプ強モード

- ・ 糊を供給する際に使用します。吐出量は14L/分です。運転中はランプが点灯します。運転時間はツマミを回して設定します。

⑥ポンプ弱モード

- ・ 糊を供給する際に使用します。吐出量は4L/分です。運転中はランプが点灯します。運転時間はツマミを回して設定します。

⑦運転時間

- ・ 各モードの運転時間を表示します。運転時間を記憶させた際に画面が点滅します。
「攪拌モード」では初めにプログラム運転のP1と表示されています。糊を攪拌する際はP1もしくはP2のモードで攪拌します。P1ははじめ低回転で運転しスタートから3分で最高速度で運転しスタートから20分で停止します。P2はP1と同様に初めは低回転で運転しスタートから3分で最高速度で運転します。P2はスタートから30分後に停止します。P2は主に固い糊を攪拌する際に使用します。運転時間の単位は分となりタイマー時間は1～30まで設定できます。タイマー時間で運転する時は初めから高速回転で運転します。

「ポンプ強」「ポンプ弱」モードでは運転時間の単位は秒となり5～95まで設定できます。また連続運転をする場合はツマミを時計回りに回していくと運転時間は「UU」と表示され運転中はアニメーション表示となります。

タイマー時間の表示は攪拌が時計回りで「P1,P2,1,2～30」で表示され「30」と時にツマミを時計回しすると「P1」に戻りループします。

ポンプは「5,10,15～UU」となり「5」でツマミを反時計回し、「UU」でツマミを時計回ししても表示はそのままです。

3 糊の攪拌

- (1) 先に水を容器内に入れます。水の分量は予め溶く糊の希釈量に合わせ必要量準備するか容器ラベルの注水目安線に合わせて入れます。この際ホースは先端のキャップを締めひもに引っ掛けて下さい。
- (2) 糊の袋を開け、袋の中に少量の水を入れて、袋の口を閉じてケースを振動させた後、容器内に移します。
- (3) フタを閉じ4カ所のフックをしっかりと止めます。
- (4) 「モード選択」で「攪拌モード」を選択し運転時間が「P1」もしくは「P2」と表示されていることを確認します。
(P1、P2はプログラム運転でありP1の運転時間は20分、P2の運転時間は30分となります。)
- (5) 「START」ボタンを押して攪拌を開始します。
- (6) 攪拌が終わった後、ポンプ内部に残っている水を吐出します。
- (7) 「モード選択」で「ポンプモード強」もしくは「ポンプモード弱」を選択し、ツマミで運転時間を設定し「START」ボタンでポンプを運転します。
(ポンプモード強の場合約15秒)
- (8) 再度「モード選択」で「攪拌モード」を選択しツマミを回して攪拌時間を5分程度に設定し攪拌します。
- (9) 糊付機の糊オケ又は糊を入れたい容器にホースを差し込み、「モード選択」で「ポンプモード強」もしくは「ポンプモード弱」を選択し、ツマミで運転時間を設定し「START」ボタンでポンプを運転します。



注意

必ず水を先に入れてください。糊を先に入れると攪拌ができず故障の原因になります。



注意

糊に定められた希釈率を守って下さい。希釈率が低い糊を攪拌すると、モーター温度が上昇し、保護回路が働いてモーターが停止します。



メモ

固めの糊を攪拌する際は運転時間の長い「P2」のプログラム運転で攪拌を行ってください。

4 糊の供給

本体スイッチで糊を供給する場合

- (1) ホース先端を糊付機の糊オケ又は糊を入れたい容器に差し込みます。
- (2) 「モード選択」で「ポンプモード強」を選択し、ツマミで運転時間を設定し「START」ボタンでポンプを運転します。
- (3) 糊が溢れないように気を付けながら、必要量の糊を供給します。
タイマー時間で運転する場合はタイマー時間動作しますが途中で運転を停止する場合はツマミを押してください。

フットスイッチで糊を供給する場合

- (1) ホース先端を糊付機の糊オケ又は糊を入れたい容器に差し込みます。
- (2) 「モード選択」で「ポンプモード強」を選択し、ツマミで運転時間を設定します。
- (3) 本体にフットスイッチを接続し踏んでください。
※タイマー時間が設定されている場合は1回踏むとタイマー時間分だけ糊が供給され、連続運転で設定されている場合はフットスイッチを踏んでいる間だけ糊が供給されます。

糊付機と連動して糊を供給する場合

- (1) 連動用コネクタ(別売りオプション品)を糊付機、リニアミキサーに接続します。
ホース先端を糊付機の糊オケにセットします。
- (2) 「ポンプ強」もしくは「ポンプ弱」のモードに設定しタイマー時間、もしくは連続運転に設定します。
- (3) 糊付機コントローラーにて連動設定を行い糊を供給することができます。



注意

ポンプ運転時に糊残量が少なくなりボコボコと空気を吸い込む音がしたら必ずポンプの運転を停止してください。

5 洗 浄

- (1) 容器内に糊が残っている場合は、別の容器に移して下さい。
- (2) 容器内に水を入れ、フタを締めてください。この時ホース先端にキャップがはまっていることを確認してください。
- (3) 「モード選択」で「攪拌モード」を選択しツマミを回して攪拌時間を設定します。(目安約2～3分)「START」ボタンを押して攪拌を開始します。
- (4) ホース先端のキャップを外しフタのホース差込口に差し込みます。「モード選択」で「ポンプモード強」を選択し、ツマミで運転時間を設定し、ポンプ内部の糊が排出するまで、水を循環させます。
- (5) ポンプ内部の糊を排出したら、別の容器や排水設備に本体容器の中の水や糊を吐出してください。
- (6) 本体容器内の水や糊を排出した後はポンプを止め、電源コードを抜き羽根を外したうえで本体容器内、羽根に付着した糊を洗い落としてください。
- (7) 残った水を捨て、乾いた雑巾などで水分を拭き取って下さい。

**注意**

洗浄を怠ると、容器内部もしくはポンプ内部で糊が腐敗し、次回の作業に悪影響を及ぼす場合があります。また、ポンプ内部で糊が乾燥すると故障の原因となりますので注意してください。

**注意**

洗浄する際は操作パネルに水がかからないようにしてください。漏電やショートを起こす恐れがあります。

故障だと思われる前に

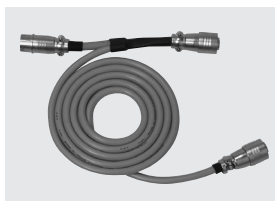
故 障	原 因	対 策
リニアミキサーが動かない。	電源プラグが外れている	電源プラグを100Vコンセントに差し込む。
	電圧の異常 (パワーエラー) セグメント表示「E1」	電圧が70V以下及び200Vに投入されているとパワーエラーになります。 電圧を復旧させてください。 AC100Vに投入してください。 延長コードを確認してください。
	モーターに過負荷がかかっている (コントロールエラー) セグメント表示「E0」	モーターに過負荷がかかるとコントロールエラーになります。 混合物が固まっていないか異物がはさまっていないか確認してください。

セグメント表示	エラー内容	対 策
HE	攪拌モーター過熱エラー	モーターの温度が下がれば運転可能になります。 時間を空けて運転を行ってください。
E0	モーターロックもしくは羽根がセットされていない	負荷が大きすぎる時は負荷を取り除いてください。 羽根がセットされていない場合は羽根をセットしてください。
E1	電圧異常	適切な電圧で作業を行ってください。
E4	コントローラ過熱エラー	コントローラの温度が下がれば運転可能になります。 時間を空けて運転を行ってください。

別売りオプション



407-213
フットスイッチ



407-211
運動用コネクター(レクスター用)



407-214
分散板取付キット



407-215
アクア運動キット

仕 様

重 量 (本体)		13kg
寸 法 (本体)	奥 行	500mm
	全 巾	500mm
	全 高	650mm
電 源		AC100V 50Hz/60Hz
出 力		120W
消費電力		300W

保 証

1. 保証の内容

保証期間内において取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合に無償で修理いたします。

2. 保証しない事項

保証期間内であっても次の場合は無償修理及び費用負担できません。

- (イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) 取扱説明書に従わず故障及び損傷を与えた場合
- (ハ) 登録カードが返却されていない場合
- (ニ) 保証書や販売店の印が無い場合
- (ホ) 天災地変による故障及び損傷
- (ヘ) 消耗品の交換、補充

消耗部品は保証期間に限らず使用過程で確実に消耗・劣化して行き、徐々にその機能を果たさなくなっていくものです。消耗・劣化の為に生じる交換や補充の費用については負担できませんのでご了承ください。

- (ト) 通常の使用消耗あるいは経年変化により発生する現象（樹脂部門、塗装面、メッキ面等の自然退色）
機械の構成部品の中には動作を繰り返すことで、新品状態から徐々に消耗していくものがあります。これらの動作中自然に発生する通常の損耗や消

耗については無償修理できませんので、予めご了承ください。

- (チ) 性能上影響が無いと一般的に認められる現象（音、振動、グリースの飛散）

本機は動く機械ですので使用中少なからず音や振動が発生します。もちろん音振動の中には異常から発生するものもありますが、正常な動作の過程で生じる機能上問題ないものもあります。これらの問題のないものについては修理できませんので予めご了承ください。

- (リ) 機械を使用できなかった事による不便さ及び損失等（電話代、交通費、休業補償、資材費、営業損失補償）

万一、保証期間内に不具合が生じ、その不具合により生じた費用については負担できませんので予めご了承ください。

3. 保証の受け方

無償修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店にお申し付けください。

4. 保証の適応

日本国内で販売し、使用された場合においてのみ適応いたします。

 ヤヨイ化学工業株式会社

本 社 〒939・1272 富山県高岡市下麻生4649

TEL(0766)36-2800(代)

フリーダイヤル：0120-119-841

(21.07)